

福岡歯科大学医科歯科総合病院に 健診センターを開設

口腔から全身の健診を

新医科歯科総合病院の開院と共に健診センターが開設されました。本院の健診センターは、口腔健診を含む福岡歯科大学ならではの健診を目指します。口腔の健康は、生活習慣病や認知症、フレイルの予防に繋がります。口腔の健康を増進することによって全身の健康も維持できる地域に根ざした健診を広めていきます。

口腔健診では、パノラマエックス線撮影を行い「齶蝕・歯周病」のチェックのみならず「口腔粘膜、唾液分泌量や口腔機能、顎関節検査」などを実施し、オプションで「口臭検査や唾液の詳細な検査」も用意しています。

通常の健診では法定健診、定期健診、保健健診、生活習慣病健診などを行うと共に、オプションで脳ドック、骨塩定量、胃内視鏡検査、眼底・眼圧検査、乳癌、認知機能や睡眠時無呼吸検査、腫瘍マーカー検査、便潜血、甲状腺検査、肝炎ウイルス検査など本院で可能な健診項目を用意しました。

健診センターは、医科歯科総合病院内のさまざまな診療科と連携し、運営を行っております。ぜひお気軽にご利用ください。



健診センター センター長
理事 樗木 晶子



健診センター 副センター長
教授 米田 雅裕

お問合せ 福岡歯科大学医科歯科総合病院 健診センター TEL:092-801-0411(代)

福岡歯科大学成育小児歯科学分野が 実習用小児患者型ロボットを共同開発

福岡歯科大学成育小児歯科学分野では、株式会社テムザック(本社：福岡県宗像市)とともに世界初の小児患者型ロボットの開発を行いました。

開発された小児患者型ロボット「さくら」は、歯科治療中の小児患者の動きをリアルに再現できる人型のシミュレーターロボットです。小児特有の診療拒否や、暴れる状況、歯科治療中に起こる体調不良、容態の急変を再現し、実際の訓練が難しい緊急時の対応を疑似体験することで、高度な臨床技能や問題解決能力を身につけることが可能になります。

小児患者型ロボットを導入した歯科および医学教育は、小児医療における安全・安心な医療行為の基礎となる画期的な試みであり、こうした危機管理実習は世界初の試みとなります。小児患者型ロボットを用いた実習は今後、随時行われます。

【主な機能】

- 小児特有の診療拒否や暴れの再現
- 瞬き、眼球、舌の動き(生理的現象)
- アナフィラキシーショックなどの様々なショック状態を再現した脈の変化、呼吸の変化、顔色の変化
- 静脈注射(採血)、心臓マッサージが可能

